

# JAAS News 第152号をお届けします

一般社団法人シニア社会学会・事務局 2012年1月20日

## < もくじ >

1. 年頭のご挨拶 袖井孝子会長	1
2. 連続講座『人生の秋を楽しく健やかに』第6回講座のお知らせ	2
3. 研究会からのお知らせ	3
4. 学会機関誌「エイジレスフォーラム」第10号からのお知らせ	3
5. ブログを作ろう！シニア社会学会「自分発信塾」	4
6. シニア社会学会からのお知らせ	4

## 1. 年頭のご挨拶 袖井孝子会長

地震、津波、原発事故に遭遇した2011年が終わりを告げ、新しい年が始まりました。おめでとうという気分にはなかなか出来ませんが、2012年が少しでも明るい年でありますよう心から願っております。

3月11日の東日本大震災による死者と行方不明者を合わせると2万人を超え、原発事故が発生した福島では故郷を捨てて今なお不自由な避難生活を強いられている人びとが少なくありません。1日も早い復旧復興を願っております。

東日本大震災は、これまでの価値観やライフスタイルの見直しを私たちに迫りました。物質的豊かさや便利さにおぼれ、傲慢にも自然を制御しようと思いついていた私たちに、自然がしっぺ返しをしたのかもしれませんが、「絶対に安全」と言われていた原発が、もちろんも崩壊してしまったことは大ショックでした。チェルノブイリや東海村の事故から、政府も国民もほとんど何も学んでこなかったことに今更ながら驚かされます。日本人は忘れっぽい国民と言われる。忘れっぽいからこそ、ここまで経済発展を遂げられたのかもしれませんが、過去に学ばなかったことのツケを今払わされているような気がいたします。

近年、安心と安全という言葉をよく目にし、耳にします。このことは、私たちの社会が安心でも安全でもないことを物語っています。言い換えれば、安心と安全が欠けているからこそ、こうした言葉が安易に使われてきたのです。

東日本大震災で亡くなった方の大部分が高齢者と障害者でした。健常者の中には、身体が不自由な高齢者や障害者を救うために命を失った人も少なくありません。誰もが年をとり、心身機能が低下することは避けられません。年をとっても、心身機能が衰えても安心して暮らせる地域社会の実現こそ、今求められているのです。そのために、何ができるのかを考えることは、当学会にとっての課題とっていいでしょう。

昨年、日本を訪れたブータンの国王は、福島の子供たちに、「ひとりひとりの心のうちに竜が住んでいる。この竜を大切に育てましょう」と語りました。よく知られているように、ブータンではGNP（国民総生産）ではなくGNH（国民総幸福量）の増大が目指されています。

今年の干支は辰。昇り竜のような経済成長を期待する人もいますが、それよりも、だれもが自分の心のうちに住む竜を大切に育て上げ、少しでも国民の幸福感が増すよう努力することを今年の目標としたいものです。



2012年元旦

袖井孝子（一般社団法人シニア社会学会会長）

## 2. 連続講座『人生の秋を楽しく健やかに』第6回講座のお知らせ

今年度の連続講座最終回となる第6回講座の概要をお知らせいたします。今年度の講座は毎回多数のお申込をいただいております。今後のお申し込みは事前のご確認をお願いいたします。

◆第6回（最終回）講座は、2012年2月18日（土）開催です。◆

講演テーマ：「終活のためのエンディング・ノート」

講師：筑摩 孝雄（ニッポン・アクティブ・ライフクラブ東京代表、当学会理事）

（講演要旨）

エンディング・ノートを吾々はなぜ必要とするのか？

戦後66年、私たちは得たもの、と失ったものが沢山あります。

地域の共同体意識、家族制度といったものから、都市化と核家族という変転、さらに、戦前時代以前の事柄が話しにくい時代を迎えたことにもあります。拡大する情報社会によって、世界のさまざまな情報がはいつてきています。他方、家族の伝統、文化、家庭内のことが、ついには語り合うことが失われつつあります。

家庭内の無縁化が始まっているのです。これは良くない社会現象と現代人は捉えているのではないのでしょうか。

エンディング・ノートの利用と、その切り口から、高齢時代の陥穽を察知して、どう生きるべきかをお話します。自己の死と生について、一寸、的をしぼって、要介護の時代の可能性と寝付かないためには、最後まで他人に下のお世話にならないためには、尊厳死について、尊厳死だけで、解決のつかない、死期を迎える延命治療にどう対処するか、をお話します。

ホームページでも随時お知らせしますのでご参照ください。

(1) 場 所：東京銀座・資生堂 9Fホール

(2) 開催要領：14時～16時の開催。募集人数は最大45名。

(3) 参加費：会員2500円、非会員3000円。

※お申し込みは、①お名前、②参加講座、③連絡先を明記し、eメールかFAXで事務局まで。

※参加費は当日、会場にてお支払いください。

※今回は既に定員を上回るお申し込みになっており、今後のお申し込みは「キャンセル待ち」となりますので、事前のご確認をお願いいたします。 (事務局担当 鈴木)

### ◇連続講座第5回参加者の感想（アンケート回答より抜粋）

＜第5回講座「上手に使おう介護保険」講師：沖藤 典子＞

感想1 本音ベースの理解しやすいレジュメで、尚且つ楽しく聴くことができました。連続講座の中でも◎です。明るい話題ではないけれど知るべき（理解すべき）現実です。そして認知症の存在を考えさせられました。

感想2 とても参考になりました。資料は見にくかったが…枚数も多く大変だったと思います。今までの中で一番納得。

感想3 恥ずかしながら知らないことが多かった。現在の介護の様子など知りえる情報を聞かせて欲しい。先生のサイトで大いにPRして欲しい。次回が楽しみ。

感想4 介護保険の何たるかを初めて知りました。今日がスタート思い、もっともっと勉強していきたいと思います。

感想5 3年毎に法改正がなされると聴きました。講座も3年毎にお願いできれば、より上手に使うことができるのではと思います。

感想6 介護保険はなかなか難しい問題と思った。これからの生き方を考えさせられる。

### 3. 研究会からのお知らせ

#### ◆第55回社会保障研究会の報告

- 1) 日時: 2011年12月15日(木)
- 2) 場所: 高齢者生活協同組合会議室
- 3) 講師: 畑 亮輔氏 (科学技術振興機構 高齢社会 アソシエイトフェロー)
- 4) テーマ: 家族介護者支援に関する研究

介護支援専門員に対するアンケート調査によって、家族介護者支援の構造を探索的に明らかにし、家族介護支援に関連する要因を検討し、家族支援のための実践モデルの提示が試みられた。介護支援専門員による家族介護者支援には、家族介護者の状態や家族関係の把握など、家族介護者へのアセスメントが重要であること、上司のサポートよりも同僚のサポートが関連していることが明らかにされた。質疑では、量的研究の限界、家族支援が介護報酬に反映されないこと、介護支援専門員の資格・職務などの在り方に関する疑問などが討議された。

(林葉子 記)

#### ◆第56回社会保障研究会開催のお知らせ

- 1) 日時: 2012年1月26日(木) 18:00~
- 2) 場所: 高齢者生活協同組合会議室 (光文社ビル6階)
- 3) 講師: 遠藤 織枝氏 (元文教大学教授)
- 4) テーマ: E P Aによる介護福祉士候補者と日本語

#### ◆第57回社会保障研究会のお知らせ

- 1) 日時: 2012年3月8日(木) 18:00~
- 2) 場所: 高齢者生活協同組合会議室 (光文社ビル6F)
- 3) 講師: 阿部俊彦先生 (早稲田大学 都市・地域研究所客員研究員)
- 4) テーマ: 地域主体のまちづくり~気仙沼中心市街地、東京の密集市街地を事例として~  
お問い合わせ、参加申込は事務局佐藤[fujiko11kasei1locha@yahoo.co.jp]までご連絡下さい・

#### ◆第19回「21世紀の倫理」研究会開催のお知らせ

濱口研究会・第5シリーズ「21世紀の倫理」研究会の第19回は、下記のとおり開催されます。

- 1) 日時: 2012年2月20日(月) 16:00~18:00  
(開催曜日・時間に変更になっていますので、ご注意ください)
- 2) 場所: 早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ: 濱口座長のレクチャー  
~河上肇著『貧乏物語』(岩波文庫刊)について論じる(第2回)〈仮〉~
- 4) その他: 研究会参加費として300円を徴収させていただきます。  
お問い合わせは、事務局島村までお願いします。

### 4. 学会機関誌「エイジレスフォーラム」第10号からのお知らせ

一般社団法人シニア社会学会の広報誌のひとつ、学会機関誌「エイジレスフォーラム」第10号に掲載します『会員の声』、及び過去3年以内に出版した『著書紹介』の原稿を募集します。下記の募集要項に基づき応募をお待ちしています。

#### ◆『会員の声』

テーマ: 日頃お考えのことや、今、関心事や興味などテーマは自由です。

例「シニア社会学会のこれからの10年」  
文字数：700字（50字前後の長短は可能です）  
締切り：2012年2月29日必着  
送り先：シニア社会学会・事務局 武者宛電子メールにて送付。不可能な場合はFAXまたは郵送にてお送り下さい。（電子メールアドレス [jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp)）

#### ◆『著書紹介』

過去3年以内に出版された著書または共著をご紹介します。ぜひお寄せ下さい。  
応募方法：ご紹介いただきます著書と書評を下記宛お送り下さい。自薦・他薦を問いません。  
書評文字数：550字、550字以内に収まらない場合は1200字以内で記載願います。  
書評のみ電子メールで事務局宛お送りいただいても結構です。

締切り：2012年2月29日必着  
送り先：シニア社会学会・事務局担当武者宛お送り下さい。尚、著書は編集終了後返却します。  
〒150-0002東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階  
一般社団法人シニア社会学会・事務局・編集担当 武者宛  
以上、多くの会員の皆さんからのご応募お待ちしております。

## 5. ブログを作ろう！シニア社会学会「自分発信塾」

1. 内容：ブログを発信し自分の活動を信頼されるよう運営を学ぶ  
3時間×2日間通し講座  
第一日：ブログの構造と活用方法・良い事例  
（宿題：完成したブログを追加記事を書く、地域のSNSのコミュニティで仲間作りの手法を実習）  
第二日：ブログの充実（写真掲載、ハイパーリンク、SEOなど）  
今後の公開、facebook 活用、セキュリティ対策など。  
今後、6ヶ月間の新宿ブログ村への参加が可能。
2. 実施日と参加費：  
第一日：2012年2月23日（木）13：30～16：30  
第二日：2012年3月 8日（木）13：30～16：30  
会 場：三鷹産業プラザ1階 PCルーム（JR三鷹駅徒歩7分）  
参加費：（2日間通し）5,000円（非会員は6,000円）  
定 員：12人  
参加条件：自分のメールアドレスで送受信ができる人
3. その他：ブログは運営のしやすさで定評のあるLivedoor ブログで作ります。  
講師は経験豊富な三鷹ブログ村のメンバーが担当します。
4. 申し込み方法：メールで下記宛に内容を書いてお申込みください。  
申し込みメール宛先⇒ [asukoya@gmail.com](mailto:asukoya@gmail.com)（堀池喜一郎）  
申し込み内容⇒①氏名（ふりがな）②住所、電話  
③メールアドレス（携帯のメールは不可）  
④参加動機

## 6. シニア社会学会からのお知らせ

1. 次世代育成支援研究会の提言が始動開始！！

2011年12月26日（月）の読売新聞によりますと、「子ども・子育て新システム」についてのまとめの中で、今後の省庁再編時に、「子ども家庭省（仮称）」の実現が明記されたとのことです。

これは、当学会が、2007年当時の厚生労働大臣・舛添要一氏などに提出した要望書に書いたものです。当会要望が、嚆矢のものとは思いませんが、もしかしたら小さな釘の一本になったのではないかと、お知らせします。

当会では「家庭・こども省」と表記しておりますが、以下は、当会が提出した提言書の一部抜粋です。

## I 国家の取り組み

第二次世界大戦後、物質的豊かさを手にした反面、子どもや弱い命を愛し、自分自身と他の人々を大切に作る心性が、国民の間に欠けてきたように思います。未来に安心でき、喜びを持って働き、社会的役割を果たすためには、国民全体を巻き込んだ合意形成が必要です。

国は、政財界へのリーダーシップをとりつつ、「家庭・子ども省」（仮）を創設し、「次世代育成支援」と「老若男女共同参画社会づくり」に取り組むことを要望します。

（沖藤典子 記）

## 2. リレートーク「日に新た」の原稿募集

「青春とは心の若さである。信念と希望にあふれ、勇気にみちて日々に新たな活動をつづける限り、青春は永遠にその人のものである」と、松下幸之助翁はこのように述べられています。

2011年に成人式を迎えた若者は、1990年生まれ。バブル崩壊後の世代です。

日本のこれからの100年は、次世代の若者たちがどのような行動をするかで決まります。

ソニーの井深大氏は自著「井深大の『教育論』」で「幸せな人生を送ることができる、また、21世紀の人類を幸福にすることができる人たちを育てていくことが、われわれのいちばんの使命なのです」と言われています。

今、シニアは次世代のために伝えなければならないことがあるはず。また、その責任を果たすことが自分たちを育ててくれた恩返し（貢献）をすることになるはず。

「今こそ次世代に伝えたいこと」「今取り組んでいること」「これから取り組んでいきたいこと」等をリレートーク方式でシニア世代の情報発信基地として活用していただければ幸甚です。

### 【応募方法】

随時受け付けします。詳細は、電話若しくはメールで事務局担当・黒澤までお願いします。

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階  
電話&FAX：(03) 5778-4728  
E-mail：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) URL：<http://www.jaas.jp/>